

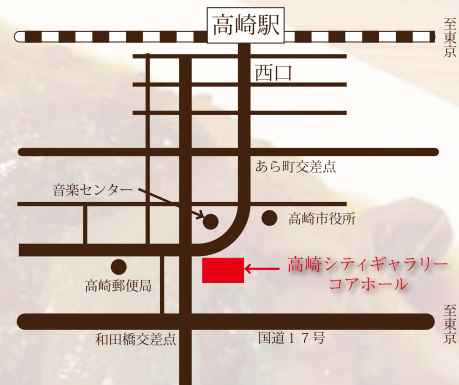
生きる事とは食べる事 食べる事とは命をいただきつなく事 ～“感謝”の気持ちを次世代へつなく～

食べる前の素晴らしいあいさつ「いただきます」
“感謝”の気持ちを込めて言えていますか？
ちゃんと子供に教えていますか？

2012年 9月12日(水)

19:00～20:40
(開場18:45)

会場
高崎シティギャラリー
コアホール
高崎市高松町35-1



事業内容

第一部

田中康弘氏講演

75分

～生きる事は食べる事 食べる事は命をいただきつなく事～

第三部

委員会発表

10分

～生きているものをいただく事～

事前予約シート

日本には食事の前に「いただきます」という素晴らしい習慣があります。この言葉には、生産者への“感謝”の気持ちと同時に、あなたの生きていた命を「いただきます」という意味が込められています。このような“感謝”の気持ちを、次世代の子供たちに伝えているのでしょうか？ 伝えるべきではないのでしょうか？

その為には、まずは大人が“食べる”事の意味を知り、“感謝”の気持ちを知る事が必要だと考えました。そこで、狩猟集団「マタギ」に同行し本来の“食べる”事の意味を自らの目で見て肌で感じてきた田中康弘氏に、「マタギ」の生活の事等から“食べる”事とはどういう事なのか？をお話していただきます。本事業を聞いてくれた方々が、“食べる”事から“感謝”の気持ちに気づき、次世代の子供たちへと伝えていただければ幸いです。



講師プロフィール

講師 田中 康弘氏

マタギ自然塾代表

NPO法人農都交流環境企画研究所代表理事

1959年長崎県佐世保市生まれ。

雑誌、週刊誌、冊子、パンフレット等の撮影や取材を生業とする。特に、旅、食、自然、農林水産業、伝統、伝承、犬、環境等は企画、取材、撮影、執筆を担当。地域と食、職、暮らし、自然環境等を深く考えることで現在社会の問題点を探りその解決策を見いだす事を実践している。

1992年10月。秋田県北秋田郡阿仁町で初めてマタギと出会う。マタギの漁や猟から解体、口に入るまでの食に関する一連の流れに同行し、“命をいただく”数々の現場に同行し取材をしている。

■著書

マタギ 矛盾なき労働と食文化
女猟師 わたしが猟師になったワケ

■経歴

1986年 銀座、大阪、名古屋各キャンソロン個展開催
1988年 銀座、大阪、名古屋、福岡、札幌各キャンソロン個展開催
2005年
～2011年 マタギ体験交流企画開催
2006年 NPO法人農都交流環境企画研究所設立 代表理事就任
2006年 林野庁山村カプロジェクト選定
2007年 トヨタ環境助成プロジェクト選定
2008年 日本財団助成金事業選定
2009年 日本財団助成金事業継続
2009年
～2010年 秋田県「秋田の元気応援プラン支援事業」選定

■お申し込み内容

団体名・個人名

人数

名

代表者名

お電話番号

今すぐFAXにて
ご連絡下さい!



FAX027-362-9578

お問合せ先:公益社団法人高崎青年会議所事務局

TEL027-361-7604

〒370-0006 高崎市問屋町2-7-8 高崎商工会議所ビル405
E-mail:info@takasaki-jc.com